

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」徳島八万校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		～ 2024年 12月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21世帯	(回答者数) 21世帯
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のチームワークの良さ。 ・全職員が笑顔いっぱいに対応させていただきますので、体験など初めて来所されるお子さまもすぐに教室の雰囲気になじむ事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士、保護者様、ご利用者様などなたに対しても不快感を与えないような接し方を心掛けている。 ・職員間では仕事の話も含め、様々な話をしながらコミュニケーションをとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの事を好意的に捉える。 ・各々できる事に自信を持って取り組めるよう、挑戦できる環境を維持していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育と小集団療育の組み合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育が基本ですが、お子さまの課題によっては小集団療育も組み合わせながら支援させて頂いている。 ・同年代、対大人、兄弟間など、お子さまの状況に合わせて組み合わせている。 ・関わりを持ってほしいお子さまには事前に保護者の方に説明し、利用日時を合わせて一緒に活動できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でお子さまの様子等を共有し、今後も全職員が対応できるようにしていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは職員が楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような活動に対しても、まずは職員が楽しむ事でお子さまの「やってみたい」意欲を引き出すようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまと一緒に新しいゲームを生み出すなど、達成感や積極性を育てる事ができる環境を維持していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やゲームの活動内容がマンネリ化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自校舎のみで解決しようとするため、アイデアが広がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きらりの他校舎で実施されている活動などを参考に、お子さまが興味を持ち続けられるような内容を考えていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・言語や身体的な面での支援方法に難しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野に詳しい職員が少ない。 ・他職員に対して専門性を生かした研修ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修や社内研修に積極的に参加したり、他校舎の専門職員に相談するなどしてできる事を増やしていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方々との関わりがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の催しものに参加しない、地域の行事予定などを把握していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者さまやご家族の方などから情報を集めたり、地域のコミュニティへ積極的に参加するなどして関わりを増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」徳島八万校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 世帯数 21世帯(100%)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	8	1	0	良女、次女とも支援のお陰で工作や学習が楽しんでおり、自宅でも〇〇したいと自ら発言が見られています。良女は学校の準備を自らすることへの課題は継続しております。	ご家庭で積極的に気持ち表現できているとの事。とても嬉しく思います。気持ちの表出・自己管理など、さらに引き続きサポートさせて頂きます。運動等で支援室を使用する際には、内容を考慮して活動させて頂きます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	3	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1	0	1		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1	0	0	理解はしているが、専門性が低く感じる。専門性のレベル向上を願います。	ご指摘頂きましてありがとうございます。研修や勉強会などに参加し、専門性を上げる事で安心してご利用頂けるよう努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	1	あれこれしすぎて、何がしたいのかわからない時がある。メインの物はしっかり時間をとってほしい。	活動内容に凝縮を与えてしまい申し訳ございません。お子さま一人ひとりの課題や目標をもとに内容を組んでおります。ご理解ご納得頂けるよう、内容の組み立ても含めフィードバック時にしっかりと説明できるよう、全職員徹底致します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	1	工夫はしているが、やる事をつめこみすぎないでほしい。できれば、あれは何分これは何分とか計画的にしてほしい。	スケジュールの量がお子さまにご負担をお掛けしているようでしたら、大変申し訳ございません。一つひとつの活動には所要時間を設けておりますが、お子さまのその日の状態や活動の進み具合により時間を前後する事もあります。負担なく取り組んで頂きますよう、時間や内容を再検討させて頂きます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	5	3		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	3	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	0	1	0	良男、「30分でもいい」という言い方はやめてほしい。押し売りされているようで、良い気分ではないです。以前5分?でも良いと言っていた時は不思議でした。そう思ったら30分以上だと連絡ありましたが、それまで5分はおかしいと思わなかったのでしょうか。過去の事を言っても仕方ないですが、とにかく、伝え方を考えてほしい。	ご利用の目的は、支援内容やお子さまの状態・指導員とのやり取りを見て頂き、ご家庭とさらりでの統一した支援・関わりなどの共通理解にあります。新制度により見学時間など不確定だった事もあり、保護者の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。現在は30~1時間ご見学頂いております。ご利用の目的を確実に伝えるよう、全職員徹底致します。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	5	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	3	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	4	1	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2	0	3	速やかな対応、連絡ではない時もあるため	対応に不備がありました事、大変申し訳ございません。今後は速やかな対応を徹底致します。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	3	0	0	次女のみの利用になると長女は羨ましくなる程、利用を楽しみにしています。	いつもご利用ありがとうございます。楽しんで頂けて大変嬉しく思います。今後も楽しい活動を通して、お子さまの成長の助けになるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	3	0	0	イベント、最近イマイチな感じします。昨年度はもっとワクワクしていたと記憶しています。クッキングができれば毎月希望します。多少の集金も大丈夫です。	ご指摘頂きましてありがとうございます。お子さまが期待を持って通所して頂けますよう内容を考えていきます。クッキングイベントに関しては、感染症の流行時期なども考慮しながら計画して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」徳島八万校			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	同時時間帯の利用人数によって個別スペースの確保が難しい場合には、小集団活動などで対応しています。パーティションを使用し、それぞれが集中できるよう配慮しています。	人数によってはスペースが狭くケガに繋がる可能性もあるため、職員間で話し合い空間を上手く活用できるようにしていきます。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8	0	利用者様の状態に応じて、支援内容や職員の配置を事前に想定し共有しています。基本1対1での対応だが、支援計画書の内容によっては職員1名に対して児童2名で行う事もあります。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	3	すべき事を視覚化して、指示がなくても見て分かるよう掲示しています。	事業所の入り口の段差にスロープを付けたり、トイレに手すりなど、ご利用者様の状態など必要に応じて対応していきます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	2	毎朝掃除・消毒を行っています。ご利用者様のいない時間帯にも気になる箇所がある場合には、消毒などその都度行っています。	教材などの消毒も徹底していきます。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	0	個別で支援できるよう、パーティションで区切っています。スケジュールによってはどのスペースを使用したいのかを職員同士で相談し、活動中の混乱を防いでいます。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	ミーティングなどで、お子さまの現状把握や課題・目標を全職員で共有しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	8		2025年度からの義務化に向けて準備しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	保護者の方と担当指導員に対して児発管がモニタリングを行っているため、お子さまそれぞれに合わせた計画書が作成されています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ミーティングなどで、お子さまの現状把握や課題・目標を全職員で共有しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	0	小集団イベントを開催し、保護者の方に見学に来て頂く事で交流の場を設けさせて頂いております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			